

小学校 最優秀賞



「私と家族」

朝陽小学校 五年 高橋 果歩 さん

「引越しが決まったよ。」

私はこの言葉を聞くと、「えー、また。」と思い、心がざわざわします。

私の家族は、お父さんの仕事の関係で今までいろいろな県に引越してきました。ようち園や小学校のとき、とちゅうで仲の良かった友達とはなれることは、まだ楽しく遊んでいられると思っていたので、なんでいつも私なんだろうと感じ、さみしくなりました。そんな時、いつもお母さんがなぐさめの言葉をかけてくれます。するとまほうがかかり、前向きな気持ちになって、

「また次の学校で仲の良い友達を作ろう。」

と、心が軽くなります。

正直、引越しをしない人がうらやましくて、何度もお父さんが引越しのない仕事だったら良かったのに、と思いました。けれどお父さんはいつも図書館や遊びに連れて行ってくれたり、勉強やスポーツのことを教えてくれるので、家を明るくしてくれます。そして私の直した方がいいところをたくさん教えてくれるので、自分もどんどん成長することができます。

私は家族がいるから本当の自分を出すことができ、楽しい思い出をたくさん作ることができます。また、だれにも言えないなやみも、家族には相談することができます。そして家族のだれか一人が欠け

てしまっても、そのようなことはできません。だから、家族っていいなと思います。

人生は一度しかなく、始まったらもう元にはもどけません。私はお父さんについていったことを後悔していません。引越しで泣いたこともあったけど、いろいろな経験や思い出を作ることができています。

最初、引越しは自分にとってあまり良くないイメージでしたが、今は引越しでもよいことがあると気づき、前向きに考えられるようになりました。そして、引越しのたびに、家族で地図をながめながら、その地域のことを知るのも楽しみの一つになりました。これからも家族で良い思い出がたくさん作れたらいいなと思います。

中学校 最優秀賞



「ありがとう」

川中島中学校 三年 坂本 絢音 さん

みなさんは、家族の大切さやありがたさについて考えたことはありますか。私は中学三年生になり、大切さやありがたさを実感することが増えたと感じます。エピソードを二つ挙げるので、ぜひ考えてみてください。

一つ目は、部活動です。私は吹奏楽部に所属していました。私の両親は、コンクールやイベントの度に見に来てくれました。三年生になり、担当楽器がフルートからピッコロに変わりました。また一から吹けるようにしなければならなかったので、ものすごく不安でした。それでも、たくさん練習して、上手に吹けるようになりました。夏のコンクールに向けて順調かと思いきや、六月、スランプに陥りました。合奏中、ピッコロのソロの時に、音が出なくなりました。恥ずかしくて悔しくて、帰宅後に涙があふれて止まりませんでした。どんどんコンクールの日が近付いていると思うと、怖くて胸がしめつけられるほど不安でした。部活で失敗したことを母に話すと、

「今はスランプになっているだけだから、素直に休めばいいんじゃない？スランプは、真剣に取り組んでいる証だよ。」

と、言葉をかけてくれました。私の中で、スランプは「なったらおしまい」くらいに重く考えていたので、母の言葉でだいぶ楽になりました。また、「スランプは真剣に取り組んでいる証」と聞いて、スラン

プを受け入れられるようになりました。母の言葉の通り、何日か部活を休みました。みるみる心も体も元気になり、音もよく出るようになりました。コンクール本番では、満足のいく演奏ができました。何度も壁にぶつかり、辞めたいと思ったけど、その度負けずに続けてこられました。その背景には、家族の言葉がけなどの支えがあります。

二つ目は、テストです。一、二年生の時はワークをひたすら解けば高得点がとれましたが、三年生のテストはそう簡単にはいきませんでした。三年生になって一番最初のテストで、過去最低点をとってしまい、次のテストも最低点を更新してしまいました。それを両親に話すと、父は、

「次はもっとできるよ。」

と、優しくなぐさめてくれました。一方、母はとても悲しそうな顔をしていました。私は、どうして母が悲しそうな顔をしているか分かりませんでした。母はテストの点には厳しいので、今回は怒られると思い、私は、

「人のテストにいろいろ言わないで。」

と、少し怒りながら言いました。すると母は、

「なんでテストに厳しいかって、受験で失敗してほしくないからなんだよ。あなたは大切だから、失敗して辛い思いをしてほしくない。」

と、言われました。そう言われて、ハッとしました。自分の人生は自分のものだけど、自分が辛いことは、周りも辛くするんだと気が付きました。より一層、勉強に励まなくちゃいけないなと、身が引きしまりました。塾に通わせてくれたおかげで、今はたくさん勉強しています。

優しく寄り添って、元気づけてくれる父。アドバイスをしてくれて、鼓舞してくれる母。私はこの家族が大好きです。辛いときには、そばにいて、何度も支えてくれました。そして今も支えられています。家族の大切さは、身近すぎて、考えることなんてそうそうないかもしれません。だけど、みなさんも今いるのは家族の支えがあつてのことです。家族の大切さを心に留めておいてください。

私はこれから、小さなことでも感謝しようと思います。今できることを精一杯頑張り、これからは私も家族を支えられるようになりたいです。